

共創型学習 (Creativity Development)

埋もれた文化遺産 II (Buried Cultural Heritage 2)

中村 豊・准教授/埋蔵文化財調査室, 遠部 慎・助教/埋蔵文化財調査室

2単位 後期 金 9・10

(平成 19 年度以前の授業科目:『歴史と文化』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『総合科目』)

【授業の目的】 受講生自身が能動的に行動することによって、自ら問題点を見出し、創成する一方法を学ぶこと場とする。本授業では、古代人の技術を体験し、また遺跡に自らの足で赴くことによって、単なる知識としてではなく、実際の古代人の生活を知り、現代社会を考える機会としたい。

【授業の概要】 徳島大学近辺の遺跡を散策する。また、出土した考古遺物を製作することによって、古代人の実生活を体験してもらう。その後、県内の遺跡を訪問する機会を設け、グループ形式で調べて、まとめ、それぞれ発表を行う。それらの作業を通して、古代人の生活についての理解を深め、現代社会を相対化する。

【キーワード】 文化財, 庄・蔵本遺跡, 常三島遺跡・新蔵遺跡, 遺物整理実習

【先行科目】 『歴史と文化/考古学概論 I』(1.0)

【関連科目】 『歴史と文化/徳島を考える』(0.5)

【到達目標】 大学構内、県内の埋蔵文化財について実際に触れたり、調べたりする過程において、文化財を身近なものとしてとらえ、それらについての理解を深める。

【授業の計画】

1. オリエンテーション・常三島遺跡散策
2. 徳島大学構内の遺跡について
3. 徳島城下町・新蔵遺跡散策
4. 徳島城散策
5. 石器に触れる
6. 土器に触れる
7. 拓本を取ろう
8. 勾玉づくり
9. 研究発表課題概要説明・準備
10. 研究発表課題:文献探索・現地踏査
11. 研究発表課題:文献探索・現地踏査
12. 研究発表課題:中間発表・討議
13. 研究発表課題:文献探索・現地踏査
14. 研究発表課題:文献探索・現地踏査

15. 研究発表会

16. 総括授業

【教科書】 教科書は使用しません。適宜プリントを配布します。

【参考書等】 [参考資料]

【成績評価の方法】 授業への取り組み状況 50%, 報告・発表会 50%として評価する

【再試験の有無】 無

【受講者へのメッセージ】 [注意]

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221143>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 中村 (088-633-7224, yunaka@clin.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 8時30分～17時30分)

【備考】 土器接合・復元などの考古学的な実習があります。汚れてもかまわない服装をお勧めします。また、遺跡散策の際には歩きやすい靴をお勧めします。主に常三島キャンパスにおいて授業を行います。その他、土日を利用して博物館などの見学を予定しています。

Creativity Development

Buried Cultural Heritage 2

Yutaka Nakamura · ASSOCIATE PROFESSOR / ARCHAEOLOGICAL HERITAGE MANAGEMENT OFFICE, Shin Onbe · ASSISTANT PROFESSOR / ARCHAEOLOGICAL HERITAGE MANAGEMENT OFFICE

2 units 後期 金 9・10

(平成 19 年度以前の授業科目:『歴史と文化』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『総合科目』)

Target) 受講生自身が能動的に行動することによって、自ら問題点を見出し、創成する一方法を学ぶこと場とする。本授業では、古代人の技術を体験し、また遺跡に自らの足で赴くことによって、単なる知識としてではなく、実際の古代人の生活を知り、現代社会を考える機会としたい。

Outline) 徳島大学近辺の遺跡を散策する。また、出土した考古遺物を製作することによって、古代人の実生活を体験してもらう。その後、県内の遺跡を訪問する機会を設け、グループ形式で調べて、まとめ、それぞれ発表を行う。それらの作業を通して、古代人の生活についての理解を深め、現代社会を相対化する。

Keyword) 文化財、庄・蔵本遺跡、常三島遺跡・新蔵遺跡、遺物整理実習

Fundamental Lecture) “History and Culture/Outline of Archeology I”(1.0)

Relational Lecture) “History and Culture/Geography and Culture of Tokushima”(0.5)

Goal) 大学構内、県内の埋蔵文化財について実際に触れたり、調べたりする過程において、文化財を身近なものとしてとらえ、それらについての理解を深める。

Schedule)

1. オリエンテーション・常三島遺跡散策
2. 徳島大学構内の遺跡について
3. 徳島城下町・新蔵遺跡散策
4. 徳島城散策
5. 石器に触れる
6. 土器に触れる
7. 拓本を取ろう
8. 勾玉づくり
9. 研究発表課題概要説明・準備
10. 研究発表課題:文献探索・現地踏査
11. 研究発表課題:文献探索・現地踏査
12. 研究発表課題:中間発表・討議
13. 研究発表課題:文献探索・現地踏査

14. 研究発表課題:文献探索・現地踏査

15. 研究発表会

16. 総括授業

Textbook) 教科書は使用しません。適宜プリントを配布します。

Reference) [参考資料]

Evaluation Criteria) 授業への取り組み状況 50%、報告・発表会 50%として評価する

Re-evaluation) 無

Message) [注意]

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221143>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Nakamura (+81-88-633-7224, yunaka@clin.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL
(Office Hour: 8時30分～17時30分)

Note) 土器接合・復元などの考古学的な実習があります。汚れてもかまわない服装をお勧めします。また、遺跡散策の際には歩きやすい靴をお勧めします。主に常三島キャンパスにおいて授業を行います。その他、土日を利用して博物館などの見学を予定しています。